

九条の会・豊中いちばん星 10周年のつどい

2015年6月7日（日）午後2時～4時 豊中市立千里公民館 集会場にて

「九条の会・豊中いちばん星10周年のつどい」が、6月7日、千里中央のコラボ（千里公民館）で開催されました。箕面9条の会から黒田さん、豊中9条の会から高市さんのごあいさつ、各方面からのメッセージは時間の関係でプリントしてお配りしました。77名の参加で会場も埋まり、良い集会になりました。



講師は今を時めくフリージャーナリストの西谷文和さん！

なにしろ、この3月にシリア国境まで行った人なので、シリアの現状についての最新の情報をお持ちでした。ISに拘束殺害された後藤さん、湯川さんの事件を検証して、問題点をしっかりと私たちに伝えてくださいました。

聞いていると、日本の現政権への怒りがふつつつと湧きあがります。あの二人を見殺しにしておいて、さらにこの国を戦争への道へと、いつか来た道、戦前の物言えぬ社会へと引きずっていかようとしている現政権！そして、その陰には、軍需産業で大儲けをたくらむ巨大企業の影が…。この美しい日本を、再びあのような惨状の中にほおりこんで良いものでしょうか！

西谷さんの持論は、「北風ではなく太陽」作戦です。なぜ、ISのような勢力が現れるのか、それは、武器輸出産業に依存している超大国の戦略と、中東諸国の国内の疲弊、貧しさからくるストレスであると思われます。空爆など止めて、産業を興し、人々が明日の食事を心配せずに暮らせる社会をつくること、それが現状を打開する唯一の方法ではないでしょうか？



微力だけれど、無力ではない私たちの草の根の力を広範に広げていかなければなりません。

明日もまた、明後日もまた、私たち、小さな力をつなげていきましょう！

(九条の会・豊中いちばん星)